

地域医療連携室だより

2018年5月発行

みゆき会病院 地域医療連携室 TEL023-672-8282 / FAX023-673-2561(直通) 第1号

『連携室だより』 はじまりました

当院は今年で創立30周年となりました。地域医療連携室は平成15年に開設されてから14年の月日が経ちました。この間に新病院ができたこと等、常に変化しています。地域医療連携室の目的としては、各医療機関及び地域で開業されている医院・クリニックとの連携を図り、地域住民の皆様が安心して医療を受けられるようにサポートすることを目的としています。

みゆき会病院 副院長

健診センター長

佐藤 伸二



みゆき会病院医療連携室の運営については、日頃から大変お世話になりありがとうございます。

「みゆき会病院地域医療連携室だより平成30年度第1号」の発行に際し、スタッフを代表して一言ご挨拶申し上げます。

新年度の御挨拶

現在、地域連携室に求められることは、文字通り自施設と他の様々な施設を「つなぐ」ことです。具体的には、紹介状や返書の受付管理をはじめ、退院調整・支援、地域連携パスの運用、地域の関連情報の収集や自施設の紹介・広報などがあげられます。

当連携室でも、上山地区はもとより村山・置賜など県内各地の医療機関・介護福祉施設・行政担当部署などと連携をとりながら、患者さんの外来受診、入院・退院が円滑に行われるよう、相談・支援・調整を行っています。その際に生じる様々な問題にはきるだけ速やかに対処して、患者・家族の皆様のご要望に最大限に応えることができるよう努力しているところです。

さて、我が国の社会の急速な高齢化に対処するために、医療福祉の分野では国が総力を挙げて「地域包括ケアシステム」（「住み慣れた地域や自宅で自分らしく生活したい」と希望する人が、必要なサービスを受けながら、在宅で自立した生活を続けられるように地域ぐるみで支える体制）の構築を進めています。

その流れの中で、医療連携の役割はさらに広がり、ますます重要度をまましていくと考えられます。

当院でも、時代の流れに則して、地域の医療・介護福祉の「マルチ・コーディネーター」として、各方面との話し合いを通じて、在宅医療など関係施設との繋がりを深め、絆を強めながら、また枠をこえた様々な施設の関係者との相互理解を深め、相互に助け合うとともに、みゆき会グループとして、地域の全体像を把握しながら、住民の皆さんの声に耳を傾け、地域にとけ込む活動を目指して、医療・介護・予防・住まい・生活支援の一体的な提供につとめたいと考えています。

これからも、医療連携室は多職種の人員を配して体制の充実をはかり、患者・家族の皆さんに十分に満足していただけるよう努力して参ります。

今後ともよろしくご挨拶申し上げます。